

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

1年が過ぎました。

「町長が替わっても町が変わったという様子が見えないね。」という声を耳にします。やるべきことはやっているつもりですが…。いろいろと手は打っていますので、しかるべき時にお話ができるようになればいいなと思っています。

その一方で、「役場の雰囲気も変わったし、今後のまちづくりに期待が持てるようになった。」という声も聞こえてきており、ホッとした気持ちと同時に、改めて責任の重さを痛感しているところがあります。

ところで、急速な人口減少には今更ながら頭を悩まされます。広報の人口動態を見るたびに辛くなります。このまま推移しますと、10年後、20年後が恐ろしくなります。人口減少率、将来消滅するであろうとする市町村の県内上位にいてもあり、町の将来に不安を抱く人も多くなってきているのではないかと思

います。

人口減少を食い止める。

それには何よりも町民の皆さんが健康でなければなりません。

また、老年人口、生産年齢人口、年少人口の人口バランスも気になることです。新年度で、若者向けの戸建住宅用地を米満地区に分譲します。さらに、長年塩づけになっていた又富団地の処分等も考えながら、住宅対策を行ってまいります。

給田地区に「子育て交流館」を設置します。子育てサークル「ほわほわ」の親御さんたちとの懇談会でのご要望に答えるもので、幅広く活用していただき異世代間の交流の場になつてくれればと思います。他に第3子の出産祝金を30万円に引上げるなどの子育て支援を充実し、「長南町で生み育てたい」と思えるまちを目指します。

人口問題がすべてではありませんが、この危機的な人口減少にブレーキをかけるには、町民の皆様の協力が必要です。一人ひとりの郷土愛に頼るしかないのです。

一人でも多くの人がこの町に残り、一人でも多くの人が長南の地に定住してくれることを願っている今日このごろです。

